

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	児童居室の個室化の推進						掲載ページ		
							149		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を有する子どもや家庭の支援	担当局	子ども家庭局
		24,900	千円	0	千円	施策名	社会的養護が必要な子どもへの支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	児童居室の個室化や小規模化（2～3人部屋）を推進し、児童養護施設における中高生等の年長児童のプライバシーを確保し、児童の健全な育成を目指します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	平成23年度は2施設で、児童居室の個室化の整備を行いました。その結果、全児童養護施設で個室化が実施されました。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	児童居室の個室化実施施設数						
	全児童養護施設で、児童居室の個室化や小規模化（2～3人部屋）を推進し、中高生等の年長児童のプライバシーを確保する必要があることから、全施設での実施を目標としました。 （最終目標と最終年度）100%		75 %	100 %	100 %		活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
					100.0 %	大変順調	
					順調		
					やや遅れ		大変順調
					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	全児童養護施設において、児童居室の個室化を実施しているため、大変順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	個室化は児童養護施設における中高生のプライバシー確保のための空間整備として最低限必要なことと考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
全児童養護施設において、児童居室の個室化を実施済。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	小規模グループケアの実施						掲載ページ		
							149		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を有する子どもや家庭の支援	担当局	子ども家庭局
		51,483	千円	97,980	千円	施策名	社会的養護が必要な子どもへの支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	市内児童養護施設及び乳児院の各施設で小規模グループケアを実施し、被虐待児等に個別的な関係を重視したきめ細かなケアを行い、児童の健全な育成を図ります。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	23年度は12月から1か所増設し、10か所で実施しました。今後も、26年度までに14か所整備する目標に向けて、着実に増設し、より多くの児童へきめ細かなケアを提供します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】	
	小規模グループケア実施施設数		9 所	-	10 所	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	国の要綱に基づき、1施設2グループケアまで指定できることから、市内7施設で14か所の設置を指標としました。 （最終目標と最終年度）14か所（26年度）						
						順調	順調
					やや遅れ		
					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	事業が予定どおりに進んでいるため順調としました。また、小規模グループケアは、児童一人ひとりに合わせた処遇を行い、小規模の落ち着いた環境の中で生活させることができ、児童にきめ細かなケアを実施できることから被虐待児等への支援として有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国の措置制度に基づいた義務的経費であり、他の方法による小規模グループケアの実施は困難です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
平成24年度に1施設の小規模グループケアの整備を行い、26年度までに14か所整備する目標に向かって、着実に増設します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	自立援助ホームの運営及び女子児童用自立援助ホームの創設						掲載ページ		
							149		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を有する子どもや家庭の支援	担当局	子ども家庭局
		34,108	千円	32,381	千円	施策名	社会的養護が必要な子どもへの支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	児童養護施設等を退所し、就職する児童に対し、共同生活を営むべき住居において、相談その他の日常生活上の援助及び生活指導、就職支援を行うことで社会的自立の促進に寄与します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	児童養護施設等を退所し、就職する児童に対し、共同生活を営むべき住居において、相談その他の日常生活上の援助及び生活指導、就職支援を行うことで社会的自立の促進に寄与します。平成22年度末に女子用自立援助ホームを設置し、男女ともに利用が可能となりました。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	就労や健康管理、食事等日常生活に関することの援助・指導等					大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	就労や健康管理、食事等日常生活に関することの援助・指導等により、児童の社会的自立促進に寄与すると考え指標に設定しました。 (最終目標と最終年度)						
	就職等自立児童数					順調	大変順調
就職もしくは大学進学を進めるとともに、自立資金の貯蓄や正しい生活習慣を身につけさせるなど、自立に向けた準備を整えて卒園させた児童の数を指標として設定しました。 (最終目標と最終年度)		5 人	-	4 人	やや遅れ 遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成22年度末に女子用自立援助ホームを設置し、男女ともに利用が可能となったことから大変順調としました。また、児童養護施設卒園児等の自立までの居場所、自立支援として有効と考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	国の措置費に基づいた義務的経費であり、他の方法による実施は困難です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
児童養護施設等を退所し、就職する児童に対し、共同生活を営むべき住居において、相談その他の日常生活上の援助及び生活指導、就職支援を行うことで社会的自立の促進に寄与します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	児童養護施設入所児童等への運転免許取得費助成など自立支援事業						掲載ページ		
							149		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を有する子どもや家庭の支援	担当局	子ども家庭局
		11,379	千円	19,591	千円	施策名	社会的養護が必要な子どもへの支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	児童養護施設入所児童に対し、普通自動車運転免許取得費や就職に有利になる資格取得費の一部を助成することにより、就職活動の支援を行い、もって児童の自立促進と福祉の向上を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	就職等を控えた児童養護施設入所児童の必要性に応じ、随時申請を受け付け助成しました。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	就職・進学を控えた児童のうち、運転免許取得希望者の助成件数		21 件	-	11 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	運転免許の取得が就職に有利になると考え、助成件数を指標に設定しました。 (最終目標と最終年度)運転免許取得希望者全員の免許取得						
	就職に有利になる資格取得希望者への助成件数		12 件	-	5 件	順調 やや遅れ 遅れ	大変順調
資格取得が就職に有利になると考え、助成件数を指標として設定しました。 (最終目標と最終年度)全資格取得希望者への助成							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	就職時に有利になる資格の一つである自動車運転免許取得は入所児童等にとって金銭面での負担が大きいため助成が必要です。また、その他の就職を有利にする資格を取得することも、入所児童の自立を促進することにつながるため有効と考えます。免許取得を希望する児童全員に助成を行ったことから活動の状況を大変順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	自動車運転免許は就職の際に必要とされることが多いものです。自動車運転免許取得にかかる費用については、コストを下げる方法がなく、助成金上限額200千円を下げることは困難です。その他の資格取得の取得費助成についても、より有利な就職にも繋がることから、自立支援策として効果的です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
24年度は就職に有利になる資格取得費の増額を行います。また、就職選択の幅を広げ、児童の自立を支援するため、就職のため退所する児童の一人暮らしの助成や、大学等に進学する場合の入学金の助成を行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	入所児童の権利擁護のための調査審議等を行う審査部会の社会福祉審議会児童福祉専門分科会への設置						掲載ページ		
							149		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を有する子どもや家庭の支援	担当局	子ども家庭局
		0	千円	0	千円	施策名	社会的養護が必要な子どもへの支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	市内の児童養護施設等で発生した被措置児童等への虐待に対し、入所児童の権利の侵害を救済し、心身の健全な成長を図るため、その権利の擁護に向けた調査審議等を行い、市長に対して対応方針等について意見を述べます。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	必要に応じて開催します。23年度は開催実績がありませんでした。					
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	有事の際の適時的確な調査審議と効果的な対応方針策定	なし	必要に応じ開催	-	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	措置児童等に対する虐待事案が発生した際、適時的確な調査審議等を行い、より効果的な対応方針等を策定するものです。 (最終目標と最終年度)必要に応じ開催					
	(最終目標と最終年度)全資格取得希望者への助成				順調 やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	措置児童等に対する虐待事案が発生した際の諮問調査機関であるため、有効性は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	社会福祉審議会児童福祉専門分科会内へ設置するため、委員会の重複設置を避けることが可能です。また、措置児童等に対する虐待事案が発生した場合のみの開催であるため、経済性、効率性は高いと考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
必要に応じて開催します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	総合療育センター等の専門スタッフの派遣						掲載ページ		
							150		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を有する子どもや家庭の支援	担当局	保健福祉局
		67,706	千円	72,114	千円	施策名	社会的養護が必要な子どもへの支援	担当課	障害福祉課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	保育所や幼稚園、放課後児童クラブ等に「総合療育センター」や「発達障害者支援センター」から専門スタッフを派遣し、指導・助言を行うとともに、保育士等の職員研修を充実することで、障害のある子どもの特性やかかわり方の理解を促進します。				活動実績	活動実績は下記のとおりです。	
活動計画	障害児保育を行う保育所及び障害児の通う学校等の職員に対し、在宅障害児(者)の療育に関する技術の指導を行います。							
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績 (達成率)		【活動の状況】	
	発達障害者支援センター及び地域支援室の指導実施件数		191 件	-	163 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	障害児保育を行う保育所及び障害児の通う学校等の職員に対し、在宅障害児(者)の療育に関する技術の指導を行うことは、保育所等の専門性向上の判断基準となることから、活動指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)						順調	
					遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	指導件数は毎年増加し、本事業利用者を順調に伸ばしています。総合療育センターは、本市の障害児療育・支援の中核施設であり、また、総合療育センター等の専門スタッフによる保育所等職員の育成は、より多くの相談者の福祉向上、問題解決を効果的に実施することができることから市民の総合療育センターの機能充実に対する期待は大きいと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	指導を実施しているのは障害福祉に関して知識・経験を十分に有する職員であり、他の職員では同じ成果を得ることができません。また、総合療育センターは指定管理者制度を導入し、経済的・効率的な運営を行っています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること

保育所や幼稚園などにおいても障害のある子どもが在籍しており、保育所等の職員の資質向上が必要であるため、専門スタッフによる指導事業引き続き実施します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	児童養護施設入所児童等の身元保証人確保対策事業						掲載ページ		
							150		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を有する子どもや家庭の支援	担当局	子ども家庭局
		22	千円	1,051	千円	施策名	社会的養護が必要な子どもへの支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	施設入所児童等が就職や住宅を賃貸する際、施設長等がその保証人を引き受けやすくするため、その損害賠償等を保証する保険に自治体負担で加入し、施設入所児童等の退所後の自立を促進します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	必要に応じて、利用します。23年度は2施設(対象者2名)が利用しました。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	身元保証人確保対策事業利用者数		1 人	-	2 人	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	施設入所児童等が就職や住宅を賃貸する際に保証人を確保することによって、施設入所児童等の退所後の自立を促進します。 (最終目標と最終年度)必要に応じ利用					大変順調	
	(最終目標と最終年度)				順調		順調
				やや遅れ			
				遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	児童養護施設等入所児童は、就職や住宅を賃貸する場合、保証人を確保できずに自立を妨げる状況が起こりやすいためこのような制度は有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	必要性に応じて利用できるため、効率的です。また、全国社会福祉協議会が実施している本事業は、自治体の関与が必須です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
必要に応じて利用します。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	児童福祉施設等第三者評価事業						掲載ページ		
							150		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を有する子どもや家庭の支援	担当局	子ども家庭局
		1,885	千円	3,672	千円	施策名	社会的養護が必要な子どもへの支援	担当課	保育課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	保育所や児童養護施設等について、より適切な情報の提供やサービスの質の向上を図るため第三者評価事業の一層の普及を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画		保育所や児童養護施設等について、より適切な情報の提供やサービスの質の向上を図るため第三者評価事業の一層の普及を図ります。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】		
	「第三者評価事業」参加施設数（総数）	124 / 157 施設 (79%)	158 施設	137 施設 86.7 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	「第三者評価事業」参加施設数を指標として掲げました。 (最終目標と最終年度)参加施設数の増加(平成26年度)							
	「第三者評価事業フォローアップ研修会」開催	実施	実施	実施	順調 やや遅れ 遅れ	順調		
市内認可保育所の施設長、保育士を対象に「第三者評価事業フォローアップ研修会」を開催し、「北九州児童福祉施設等評価基準（保育所編）の活用について理解を促進し、事業参加への動機付け及び保育の質の向上を図っています。 (最終目標と最終年度)								

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	「第三者評価事業フォローアップ研修会」を開催しました。（平成23年6月28日）市内認可保育所について、通常評価13施設、再評価（三年次評価）9施設の第三者評価を実施しました。 本事業は、事業者の提供するサービスの質の評価を行うとともに、サービスの利用を予定している方に対して適切・円滑にサービスを利用できるよう情報提供を行うものであり、その有効性は高いと考えます。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	本事業は低コストで経済的・効率的に実施しており、コスト削減は困難です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
未参加施設への事業参加を積極的に促し、第三者による評価を通して、保育所のサービスの質の向上と利用しようとする方への情報提供を行います。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	児童養護施設処遇改善事業						掲載ページ		
							H23年度新規		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	特別な支援を有する子どもや家庭の支援	担当局	子ども家庭局
		9,917	千円	26,400	千円	施策名	社会的養護が必要な子どもへの支援	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	児童養護施設に入所している発達障害児や知的障害児などの処遇困難児を受け入れる人数に応じて職員を加配する費用を補助し、処遇困難児への必要なケアと他児の処遇の質を確保することにより、児童の健やかな成長と自立を目指します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	処遇困難児への必要なケアと他児の処遇の質を確保するため、平成23年度に新規事業として立ち上げました。平成23年度は各施設に職員を1名加配し、処遇困難児20名以上受け入れている施設にはさらに1名の職員を加配する費用を補助する仕組みとしました。その結果、23年度は、施設全体で6名の職員を加配しました。今後も職員配置の拡充を図ります。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	加配する職員数			児童の健やかな成長と自立を促します	6人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	職員を加配することにより、処遇困難児への必要なケアと他児の処遇の質を確保できると考え、指標に設定しました。						
	(最終目標と最終年度) 児童の健やかな成長と自立					遅れ	
(最終目標と最終年度)							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	障害の特性に応じたきめ細かな個別の支援をすることにより、子どもの健やかな成長に有効です。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	何らかの障害を持つ子どもは、他人には分かりづらい日常生活での困難さを抱えていることから、個別の支援は、処遇の面で非常に効果的です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
処遇困難児への必要なケアと他児の処遇の質を確保するため、平成24年度は、さらに、職員配置の拡充を図ります。